

ものつくりのための描写教室

- 中・高校生を対象にした大学公開講座の報告 -

川久保 守^(*1) 三船温尚^(*2) 張 美羅^(*3)

1. 中・高校生を対象とした大学における公開講座開講の経緯と講座内容

完全週休2日制にともない、小学校、中学校での図工や美術の時間が減っています。学校の中で心を育てる授業が減り、そのかわりに休日に美術館に出かけ、そこで美術教育が行われる方向に進んでいます。そういった美術館での作品鑑賞や制作体験で、児童、生徒の情操教育がなされるかどうかについては、今後の成果に問われることとなります。一方で、大学を地域に開放し、土、日曜日を利用して美術教育が行われることも、今後おおいに予想されます。こういった流れの中で、この講座は完全週休2日制が施行された最初の年度(平成14年度)に、中・高校生を対象にした高岡短期大学公開講座として企画されたものです。

講座の目的は上手な絵を描くことではありませんでした。まず、人が絵を描いてきた歴史、描くようになった意味、自由な心で描くことなどを理解するために、旧石器時代の洞窟壁画、銅鐸に描かれた弥生人の絵、幼児の絵などをスライドや資料で鑑賞しました。集中して描く面白さを体験するため、静物を1～4分間という短い時間で写生することを繰り返しました。また、基本的な描写を理解するために、見ないで円柱や立方体などの幾何形体を描く訓練を何度も行いました。それは、中学生には初め難しかったようですが、繰り返すことで知識になりやがて自信につながったようでした。見ないで大まかなものの形が描けるようになったら、今度はそれを発展させて、蓋付きの箱をデザインし、想像で描いてもらいました。そして、講座のメインイベントは、地面に大きな絵を描くことでした。自由な心で思いきり描いた体験は、受講者各人にとって忘れられない思い出になったようです。

講座をとおして、紙に描く絵はすべて小さなメモ帳にペンで描いてもらいました。講座後も、常にメモ帳を持ち歩き、目に留まった美しいものをスケッチする習慣を身に付けて欲しいという想いからです。

また、講座の講師を「先生」ではなく「さん」で呼ぶよう、初日に受講者をお願いしました。大学で講座を受ける緊張を和らげる目的もありましたが、なによりも講師自身の中・高校生と同じ目線、立場に立とうとしたからです。それは、上手に絵を描くことが目的ではない講座だからこそ、講師自身のともに描こうという姿勢を示したものでありました。

講座は、土曜日午前の3時間を使って6週連続で開講されました。各回の内容は以下の通りです。

(* 1) 高岡短期大学事業課 (* 2) 高岡短期大学産業造形学科
(* 3) (執筆時)高岡短期大学産業造形学科金属工芸コース2年生

< 6 回分の講座内容の表 >

第 1 回 「古代人の絵から学ぶ」

6 月 1 日 (土) 9:00 ~ 12:00

時 間	内 容
9:00	開講式 講師挨拶と講座概要説明 (三船温尚)、助手挨拶 (張 美羅)
	受講者自己紹介 * メモ帳とペンを配布する * 自分の好きな色のペンケースを選ぶ
9:30	1. 古代人の壁画をスライドで見る 映写された古代人の壁画をスケッチする
10:00	< 休 憩 >
10:15	2. 屋外の地面に木炭で大きな絵を描く 古代人の壁画を地面に描いてみる 好きな絵を地面に描いてみる
11:15	< 休 憩 >
11:30	3. 古代人の壁画をスライドで見る 映写された古代人の壁画をスケッチする
	4. 見ないで描く 正方形 立方体
11:50	< 終 了 >

第 2 回 「幾何形態から ものつくりを考える」

6 月 8 日 (土) 9:00 ~ 12:00

時 間	内 容
9:00	* 自分の好きな色のペンケースを受け取る 1. 見ないで描く (メモ帳と黒板に描く)・手首と腕と肩と全身で描く 直線、曲線、丸 正方形 立方体
9:40	< 休 憩 >
9:55	2. 大学の中の興味あるものを見て描く (メモ帳に描く) 正方形 タイル、窓、壁など 立方体、直方体 自動販売機、ロッカー、電話ボックスなど 円、円柱 お椀、お盆、缶など 球 やかん、ボールなど
10:40	< 休 憩 >
10:55	3. 大学の中の何を描いたか発表する
11:15	4. ペンケースに模様を描く (ペンケースに描く) デザインを考える ペンで模様を描きはじめる
11:40	5. 気に入った今日の一枚の絵と途中のペンケースを並べてみんなで見る
11:50	< 終 了 >

第3回 「こどもの絵と弥生人の絵を見て それを描く」 6月15日(土) 9:00 ~ 12:00

時 間	内 容
9:00	1. 見ないで描く (メモ帳と黒板に描く) 手首と腕と肩で描く 正方形 立方体
9:20	2. 銅鐸クイズをする。弥生時代の絵を描く
	3. 銅鐸クイズの答え
9:40	< 休 憩 >
9:55	4. 屋外で自然物を描く、色を塗る
10:40	< 休 憩 >
10:55	5. こどもの絵と弥生時代の人の絵を見比べる
11:20	6. ペンケースに模様を描く (ペンケースに描く) * 描く材料や方法は自由
11:40	7. みんなが描いた弥生の絵、今日描いた一番のお気に入りの一枚、途中のペンケースを、一堂に並べてみんなで見る
11:55	< 終 了 >

第4回 「人物や静物を描いて色を塗る」 6月22日(土) 9:00 ~ 12:00

時 間	内 容
9:00	1. 見ないで描く (メモ帳に描く) 手首と腕で描く 正方形 円柱
9:15	2. 見て描く (短時間で描く) 直方体 円柱 静物
9:45	< 休 憩 >
10:00	3. 人物・静物を描いて色を塗る (短時間で描く) * ポーズをとった三船さんと張さんを描く
	4. 中学生と高校生に分かれて描く 中学生は屋外で自然物を描く 高校生は「見ないで描く (正方形と立方体・円柱)」
10:40	< 休 憩 >
10:55	5. 三船さんが描いたスケッチを見る
11:10	6. ペンケースに模様を描く (ペンケースに描く) * ペンで模様を描く
11:40	7. 今日の気に入った一枚、途中のペンケースを並べてみんなで見る
11:55	< 終 了 >

第5回 「地面に炭で絵を描いて上からながめる」

6月29日(土) 9:00 ~ 12:00

時 間	内 容
9:00	1. 見ないで描く (メモ帳に描く) 手首と腕と肩で描く 直方体 円柱
9:20	2. 自然物、人物を描いて色を塗る (短時間で描く) ピーカー、フラスコ、ピンを4分、3分、2分、1分で描く ポーズをとる人(友達)を5分、4分、3分、2分で描く
9:55	< 休 憩 >
10:10	3. 地面に大きな絵を炭とチョークで描く < 休 憩 >
11:40	4. 四階から地面の絵をながめる
11:55	< 終 了 >

第6回 「蓋付きの箱をデザインする」

7月6日(土) 9:00 ~ 12:00

時 間	内 容
9:00	1. 見ないで描く (メモ帳に描く) 正方形 立方体
	2. 蓋付きの箱をデザインする *いろいろな用途の箱をデザインし、想像で描く
9:45	< 休 憩 >
10:00	3. 地面に大きな絵を、炭とチョークで描く < 休 憩 >
11:20	4. 四階から地面の絵をながめる
	5. 完成したペンケースの模様を並べて、みんなで見る
11:50	6. 閉講式

2. 講座助手から見た中・高校生の公開講座

高岡短期大学産業造形学科金属工芸コース2年 張 美羅

私は韓国のソウルから高岡短期大学に留学しています。留学生活も1年が経ちました。学生生活や日本での一人暮らしの生活にもだんだんと慣れてきました。けれども、まだ日本語が十分に話せないので失敗する時もたまにあります。こんな私に三船先生から公開講座の助手の話聞いた時、ちょっと迷いました。日本に来てそれまで中学生や高校生と出会う機会もなかったし、話したこともなかったの、恥ずかしかったし、考えるとドキドキしました。もしかして、講座を手伝うのではなく、私がいることで先生の仕事が増えるのではないかなと思いました。でも、やってみたかった。そして、今はやって本当によかったと思っています。

授業が始まった時は、生徒たちにはちょっと内容が難しくないかなと思いました。でも先生の話を聞いている生徒たちの顔は真剣でした。みんなで外に出て大学内の地面に炭で絵を描いた時、その楽しさはやったことのない人には絶対に分からないだろうと思いました。私も100%は分からないけれど、そのとき汗をかいた生徒たちの笑顔は忘れられません。

授業の中で、一人ひとりが友達のモデルになって描いてもらったり、モデルになった友達を描いたりする時間がありました。もちろん私も先生もモデルになってみんなに描いてもらいました。ものすごく恥ずかしくて汗がいっぱい出て、シャワーに濡れたようになりました。モデルというのは難しいと初めて思いました。

講座が終わるころには、生徒たちと仲良くなって、さびしさや悲しさが一緒にきました。また会えるかな、私たちのことを覚えていてくれるかなと、いろいろなことを思いました。

これをきっかけにして、生徒たちが絵を描くのは難しいものではなくて楽しいことだと感じて続けてほしいと思いました。私も講座で生徒たちとともに過ごして、いろいろ勉強になりました。この講座に参加させていただいて本当にありがとうございました。

3. 中・高校生を対象とした大学開放事業への提言

中学生、高校生に対して大学がどのような内容の公開講座を開講すればよいか、実は確信の無いままにこの描写教室は実施されました。初めての試みで、全てが手探りで進められざるを得ない状況でした。そういった意味でも、今後の中・高校生を対象とした地域への大学開放事業のありかたを考える上で、今回の講座には多くの重要な情報が含まれています。すなわち、受講した中・高校生が大学の講座に対してどのような感想を持ったかを分析把握し、次回以降の講座計画に反映することです。中・高校生が思い描いた講座内容と実際の講座内容にズレがなかったか、中・高校生はどのような目的で受講したか、また受講者の興味を引き続けることができたか、時間数は適切だったか、開講日は適切だったかなど幅広くチェックする必要があります。

そのための具体的な方法の一つは、受講者へのアンケートからこれらを読みとることです。アンケートは無記名で行いました。以下は、依頼文と提出された26名分の回答です。

<講師からのアンケート依頼文>

中学生、高校生のみなさんと一緒に絵を描く今回の描写教室は、私にとっては初めての試みでした。6回をとおして、いろいろな物をみなさんに描いていただきました。そして、古代人の壁

画、弥生人の絵、こどもの絵なども見ていただきました。

じょうずに描くことが目的ではありません。ながめるだけでは通りすぎていく形も、描くことによって心のなかに一つひとつ大切なものとして溜まっていきます。

私は、この教室が終わってもみなさんにスケッチする習慣が身につき、いろんなものを心にいっぱい溜めて、美しいものがわかる人になってほしいと思っています。そして、心のやさしい豊かな人になってほしいと思っています。

そこで、今回の描写教室の悪かったところ、良かったところをみなさんにお聞きします。みなさんの感想を参考にして、これからも、よりよい描写教室が開けるよう努力していきます。

<受講者の回答>

16歳：高校2年生

スライドが見にくかった。上手下手にかかわらず、のびのびとスケッチができた。

14歳：中学2年生

人を描くのはあまりよくなかった。立体が描けるようになったのはよかった。

17歳：高校3年生

この講座の悪かったところは特に思いつきませんでした。地面に絵を描いたのは、本当に楽しくて良かったです。普段はあんなに大きな絵を描くことがなかったので、私は久しぶりに自由な気持ちになれました。机に置いた円柱の描き方を習ったので、今後の大きな進歩になりそうです。高岡短期大学に初めて来て、とても良い学校だと感じました。この描写教室はとてもたくさんの良い経験になりました。

13歳：中学2年生

土曜日の午前中にやるのはよくない。立方体の描き方など分かりやすく教えてくれた。

14歳：中学2年生

地面に炭を使って絵を描いたことが良かった。



1.スライドで映写した古代人の洞窟壁画をメモ帳にスケッチする



2.スケッチした古代人の絵を炭で地面に描く

17歳：高校2年生

教えてくれる方を「先生」と決まった言葉で呼ばなくてもいいという気軽さがよかった。高校ではできない「特別授業」がとても有意義でした。他の高校の人とも出会うことができ本当によかった。

17歳：高校2年生

今までと違う絵の描きかたを知ることができて楽しかった。特に、「子供の絵」は私が思いつかないような絵の描き方でおもしろかった。じつは、初めはデッサンをする教室だと思って申し込んだので、最初の授業は「何これ？」と思ったけど、やってみたら楽しかった。地面に炭とチョークで描くやつかなりおもしろかった。今日で最後になるけど、ありがとうございました。

15歳：中学3年生

開講日程、時間が良くなかった。地面に好きな絵を描くのがよかった。

14歳：中学2年生

いろいろなものを見てスケッチしたかった。ていねいに教えてくれて良かった。正方形などの描き方をここで初めて知った。普段描くことをしないのでいい機会になった。

14歳：中学2年生

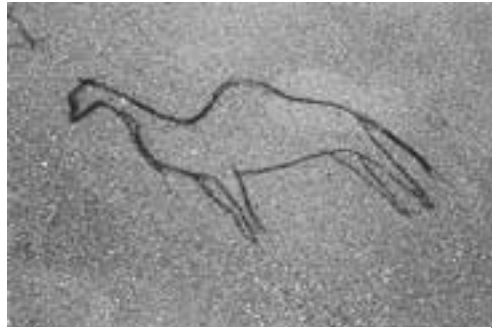
いろんな物をいっぱい描けてよかった。正方形の見え方を詳しく説明してくれてよかった。

14歳：中学3年生

大きな規模の事をもっとたくさんしたかった。人を描くのはおもしろくてよかった。

16歳：高校1年生

期末テストと重なって来られない日があった。子供、古代人、壁画などの絵を見せてく



3.地面に描いたラクダ



4.地面に描いたクマ、ペンギン、オーロックスなど



5.その日、一番気に入ったスケッチを並べてみんなで見る

れたことと、見ないで描くというやりかたが良かった。

13歳：中学2年生

見ないで描くというのがとても勉強になりました。

14歳：中学3年生

コンクリートの地面に炭で古代人の壁画を描いたのが楽しかった。

18歳：高校3年生

期間と時間が経つのが早かった。一つの事をもっとじっくり時間をかけてやりたかった。いろいろな事ができて楽しかった。年齢がバラバラなのがよかった。中学生も高校生もいたので、高校3年生の私には気が楽で、たのしかった。年齢が離れていると、考え方も描くことも違うのでおもしろかった。週に1回でも学校以外で学ぶのも新鮮な感じが良かった。

16歳：高校2年生

もっと少人数のほうがとけ込めて良かったのではないかと思う。内容はおもしろかった。

15歳：中学3年生

休憩時間がいっぱいあって、のんびりできて良かった。

14歳：中学3年生

空想画を描ければ良かったと思う。ものが見かたについて分かったところがよかった。

14歳：中学3年生

スライドで映した古代人の壁画や弥生人の絵を描くとき、少し時間がたりなかった。また、暗すぎて何を描いたのか自分でも分からないような絵になった。多視点画とか一度も聞いたことがない言葉や、円柱や立方体など



6.ペンケースに模様を描く高校生



7.屋外の植物をスケッチする高校生



8.屋外の花をスケッチする中学生

の正しい描き方を知ることができてよかった。
また、何でも自由に描ける時間やペンケース
に模様を描くことができてよかった。

14歳：中学3年生

炭で地面に絵を描いたことがとても楽しく
てよかった。

12歳：中学1年生

知らない人とふれあえたことがよかった。
でも、もう少し、ふれあいや話す機会がある
とよかった。

13歳：中学2年生

外に出て絵を描いたのがよかった。立方体
がうまく描けるようになったことがよかった。

14歳：中学3年生

炭で地面に絵をかけたのしかった。

17歳：高校3年生

外で描くのがちょっと暑かった。高岡まで
遠かった。「速く描く」「見ないで描く」がお
もしろかった。

14歳：中学2年生

見ないで描くというのが初めてだった。直
方体や円柱をどう描けばいいのか分からず苦
手だったけど、見ないでこれらを描くとい
うのは学校でやらないのでおもしろかった。外
の地面に炭で描くのがおもしろかった。たく
さん描いて、チョークで塗って、青が気に入
った。楽しかったです。

17歳：高校3年生

高岡は遠かったです。外で描くのはも
うこの年齢になるとなかなか無い機会なので
とても楽しかったです。



9.ペンケースに模様を描く中学生と張さん



10.制作途中のペンケースの模様をみんなで見る



11.全員が交代でモデルになって短時間で友達をスケッチする



12.石膏の幾何形体を短時間でスケッチする



13. 円柱、立方体を想像して見ないで黒板に描く



14. いろいろな角度からの立方体を想像して見ないで描く



15 立方体に描けたかみんなで見ると見る



16. 入れるものを想定した蓋付きの箱をデザインし、形と模様を描く



17. チームに別れ、地面に描くテーマを話し合う中学生と高校生



18. 地面に思い思いの絵を炭とチョークで描く中学生



19. タイルの上に炭で描く中学生



20. 地面に炭で描く高校生



21. 張さんを描くチーム



23. 炭とチョークで色彩豊かに描かれた絵



22. 中学生、高校生の4人チーム



24. 炭とチョークで色彩豊かに描かれた絵

この講座では、大学の教育・研究で蓄積した幅広い知識、経験のなかから、中・高校生に伝える内容を吟味し、刺激的にアクティブに講座を進行することの重要性を痛感させられました。受講者は、受講前にその講座の内容をある程度予想します。企画側は、講座タイトルや説明文にできるだけ多くの内容を正確に盛り込もうとします。一般の成人を対象とした公開講座の内容は、おおむね受講者の予想通りであること、期待通りであることが受講者の満足度を高めることにつながります。しかし、中・高校生講座の場合、それだけでは不十分かも知れません。ある意味で受講者の予想を裏切ることも大切になってきます。悪く裏切ることは論外ですが、そのためには受講者の予想を上回る、刺激的な内容が連続する必要があるように思われます。今回の講座のように受講料が無料である場合、知的好奇心を刺激する内容が継続しなければ、6回の講座を通して少しずつ欠席者が増えることにつながります。高岡市外に住む高校生は、遠くから公共交通機関を乗り継いで、時間をかけて大学に足を運ぶわけですからなおさらです。

今回受講者の内、一人は初日以降全てを欠席しました。その受講生にとっては予想を悪く裏切った内容だったのでしょうか。しかし、毎回入れ替わり4～5名の受講生が、定期試験やプラスバンド大会で次週を欠席することを事前に告げて欠席したものの、最後までほとんどが出席しました。このことから、この講座は成功だったと言えるのかも知れません。講座の3時間の中身は、45分間描写、15分間休憩を3回繰り返す時間配分でしたが、この45分間の中でも、事前に予定

していた内容をどんどん変更していきました。教室での描写に少しでも飽きた様子が見えれば、すぐに予定を変更して、屋外でのスケッチに切り替えるなど、常に新鮮な刺激を与えることに努めました。しかし、だからといってあらかじめ中・高校生の興味やペースが把握できていた訳ではなく、最初から最後まで試行錯誤の公開講座であったと言えます。

「ものつくりのための描写教室」は高岡短期大学にとって、中・高校生を対象にした初めての公開講座でした。今後は、小学生を対象にした大学講座の開講も考えられます。地域社会の要望に応える若年者を対象にした大学公開講座を企画・実施するためにも、この講座の詳細について、さらに多方面から厳密に分析する必要があると考えています。

4. 今後の課題

本学の「公開講座」は、通常の授業科目を公開するのとは異なり、はじめから公開講座として計画された講座を主として開講しています。学長以下教官57名という小規模の大学であるにもかかわらず、年間24講座(計525.5時間)という平成14年度の開講実績は評価に値するものと思われます。

最近、各大学で開講されている「公開講座」は、多様な形態を総称するようになっており、社会人を対象とするものだけではなく、中には高校生、中学生、小学生を対象としたものも多く含まれています。また、内容的には同種と思われる講座でも、講習料を徴収するか否かは開講する機関によってさまざまに異なります。大学が開講する公開講座は、大学の培ってきた教育・研究資源を地域に広く開放することであるという点では共通していても、講座をどのように企画し、実施するかは、それぞれの大学の取組み方針によって決定されるものであり、違いがあるのは当然のことと考えられます。

本学では、前述のとおり、平成14年度に初めて中・高校生を対象とした公開講座が実施されました。この企画は、それぞれの大学が独自の個性をのばしていくことを目指すべきだという大学改革の方針に適合するものであると同時に、また、本学の運営諮問会議でも指摘があった中・高校生に対する大学の紹介・広報事業にも相応するものであると考えられます。こうした取組みを充実させていくことが、中・高校生が大学という現場での学問にふれる機会を増し、進路決定や将来設計のためのヒントとなることで、中・高校生個々人の能力や個性をのばすことに寄与すると期待されます。

本学の建学の趣旨の大きな柱は、地域の多様な要請に積極的にこたえ、広く社会に対して開かれた大学であることにあります。なかでも中・高校生向けの公開講座や高校生に対する通常授業の公開、「大学」r・サイエンス&ものづくり」事業といった初等中等教育と高等教育とをつなぐ取り組みは、単なるボランティア的活動として行われるものであってはならず、自治体、教育委員会及び中・高等学校の現場と連携することにより、大学の教育の面からの地域への貢献を果たしていくものとして、今後ますます重要視されるものと思われます。